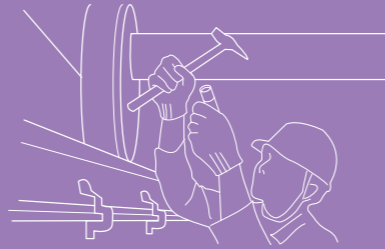


人材育成

各種運動・訓練や講演会、研修等を通じて、輸送の安全を確保するために必要な知識・技能を備えた人材を育成しています。



安全に関する年間行事

年間を通じて、安全に関する様々な行事を開催しました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
近隣居住者対策本部設置訓練 自動車運転手講習会 春の全国交通安全運動 総合研修訓練センター開所	工務部事故防止推進会議(第1回) 運転部CS推進講演会	事故防止オープンセミナー 安全管理者講習会 危険物安全週間	改良建設部ISOフォーラム 夏季の安全輸送推進運動 車両部技能競技会 事故防止会議 セーフティ工務 全国安全週間	防災週間 改良建設部安全協議会	秋の全国交通安全運動 営業部接客選手権 対策本部設置運営訓練	工務部技能競技会 異常時総合想定訓練 工務部事故防止推進会議(第2回) 電気部技能競技会(信通分科) 運転部異常時想定訓練 電気部請負工事安全衛生協議会 防災セミナー 改良建設部安全推進大会 全国労働衛生週間	工務部改善提案発表会 電気部グループ企業価値向上活動発表会 東京都・豊島区合同帰宅困難者対策訓練 車両部業務改善活動報告会 営業部安全推進大会 秋季全国火災予防運動 電気部技能競技会(電機分科) 運転部CS推進発表会 防火講演会	工務部KYT大会 年末年始無災害運動 年末年始の輸送等に関する安全総点検 運転部安全発表会 安全講演会 東京メトロ・都営地下鉄合同消防訓練 営業部CS推進発表会 フラットホーム事故0(ゼロ)運動	安全推進発表会 電気部技能競技会(変電分科)	業務改善・収益性向上発表会 運転部異常時想定訓練 サービス向上発表会	改良建設部ISO報告会 「安全の日」講演会 春季全国火災予防運動



安全推進発表会

1月26日 安全推進発表会

東京メトログループ各部門の安全活動における優れた取組を発表・共有することで、社員一人ひとりの安全活動に対する意識の向上を図りました。



「安全の日」講演会

3月9日 「安全の日」講演会

平成12年に日比谷線列車脱線衝突事故を発生させた3月8日を「安全の日」として定めて、「安全の日」講演会を毎年開催しています。

事故防止会議



7月13日 事故防止会議

夏季の安全輸送推進運動の実施に伴い、さらなる輸送の安全確保に向けて、取引先各社の安全担当(部長クラス)の皆様を対象とした事故防止会議を開催しました。

10月20日 電気部請負工事 安全衛生協議会

請負工事及び委託作業における災害や事故、負傷疾病等の未然防止のため、請負者等とともに安全への取組を発表しました。



電気部請負工事
安全衛生協議会

12月8日 安全講演会

年末に実施される「年末年始の輸送等に関する安全総点検」と「年末年始無災害運動」に先立ち、労働災害の防止と安全意識の高揚を目的に、安全講演会を開催しています。平成28年度は、「企業体質強化につなげる実践的安全活動～“活かし”そして“つなぐ”～」と題して、講演が行われました。



安全講演会

社員の研修

鉄道技術の習得や安全意識の浸透などを目的とした社員研修や諸活動を行っています。

総合研修訓練センターを活用した研修

総合研修訓練センターを、平成28年4月にオープンしました。これまで各所に点在していた各部門の研修施設を統合するとともに、営業線に準じた訓練線と研修棟を有し、「本番さながら」の訓練ができる場となっています。

知識と技術を磨き、部門間の連携を深め、東京メトログループの総合力を高めるための多様な研修・訓練を実施しています。

◎部門横断訓練

過去の事例を題材に、路線ごとに各部門が集まり、事案の発生から運行の再開まで取組む実践的な訓練を行っています。自身の役割を果たすとともに、他部門の動きを学びます。訓練終了後は、ディスカッションにより気づきを共有し、部門を超えた連携を強化しながら、異常時の迅速な対応力を向上しています。

平成28年度は8回の部門横断訓練を実施しました。



部門横断訓練の様子

◎動力車操縦者(運転士)養成

動力車操縦者(運転士)養成は、運転士として必要な知識・技能を習得することを目的に行われる養成プログラムです。シミュレータや訓練線を活用しながら、基本作業や異常時の対応などを実践的に習得するとともに、運転士としての使命の理解を促進しています。



動力車操縦者(運転士)養成の様子

▶その他の研修・訓練事例

研修・訓練名	研修・訓練内容
脱線復旧訓練	訓練用のトンネル内で実際に車両を脱線した状態にし、ジャッキ等を使用して脱線復旧をする訓練を実施しています。 
バリアフリー研修	模擬駅、実車両を使用し、バリアフリーに関する理解を促進しています。 

安全体感研修

車両部、工務部、改良建設部及び電気部の技術系各部の新入社員に対して、擬似体験装置を使用して日頃行っている作業に潜む危険や災害の怖さを認識させ、基本動作や安全確保の重要性を理解させることで、労働災害の防止と安全意識の高揚を図っています。

平成28年度は137名が受講しました。

鉄道総合技術アカデミー(企業内スクール)

東京メトロが培ってきた地下鉄運行のノウハウや技術を伝承していくため、毎年、各職種から若手社員を選抜して「鉄道総合技術アカデミー」を約9カ月間(実日数約42日)開講しています。平成26年度からグループ会社にも受講枠を広げ、平成28年度は総勢27名が受講しました。講義としては、鉄道技術の基礎知識や鉄道システム、法体系等を学習するとともに、現地研修や体験学習を取り入れた実践的教育、役員へのグループ研究発表会などを行っています。



現地研修の様子

安全繫想館(イメージ)を活用した研修

安全繫想館は、すべてのお客様に安心してご利用いただくため、決して忘れてはならない日比谷線列車脱線衝突事故はもちろんのこと、過去の事故の貴重な教訓を風化させることなく「安全確保」への強い想いを未来に繋ぐことで、安全意識の高い企業風土を築き上げていくことを目的に、平成28年4月に総合研修訓練センター内に開設しました。この施設を活用した「安全研修」を東京メトログループ全役員・全社員が受講するよう2年をかけて実施し、その後も継続的に行います。事故を心に刻み、職責を再認識するとともに、人が起こす過ち(エラー)には必ずその背景・要因があることを理解し、それを未然に防ぐために自ら考え、気づくことができる人となる社員の育成を目指しています。

▶安全繫想館(イメージ)



ヒューマンエラーマネジメント講習会

平成22年度から、ヒューマンファクターの観点での安全活動について、各部門において中核を担う人材の育成を目的に、関係部門より選抜された社員を対象としたヒューマンエラーマネジメント講習会を実施しています。平成28年度は、27名を対象に年10回実施しました。

安全活動意識調査・相談会

平成21年度から、社内で開催している各種の安全活動が、社員一人ひとりにどのように伝わり、理解されているかについて、アンケート形式による社内調査を実施しています。

また、平成23年度から外部有識者を招いて各部各職場からの疑問・意見等に助言を得られる安全活動意識相談会の場を設定し、平成28年度は24回の開催を通じて、外部有識者との活発な意見交換を行いました。